

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年7月9日(2020.7.9)

【公表番号】特表2019-517558(P2019-517558A)

【公表日】令和1年6月24日(2019.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-024

【出願番号】特願2018-564385(P2018-564385)

【国際特許分類】

C 07 C 29/17 (2006.01)

C 07 C 29/141 (2006.01)

C 07 C 33/025 (2006.01)

C 07 C 33/02 (2006.01)

C 07 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 07 C 29/17

C 07 C 29/141

C 07 C 33/025

C 07 C 33/02

C 07 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年5月27日(2020.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

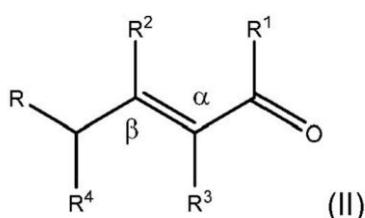
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

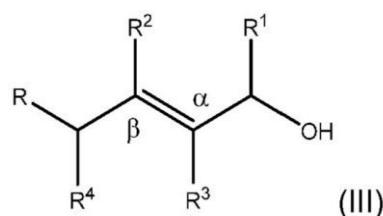
(a) 水素ガス、塩基および均一ルテニウム触媒の存在下、式(II)

【化1】



で表される化合物を約30～70まで加熱して、式(III)

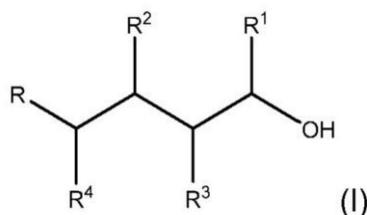
【化2】



で表される化合物をもたらすこと；

(b) その後、温度を約100～150まで上昇させて、式(I)

## 【化 3】



で表される化合物をもたらすこと；

式中

R 1 は、水素またはメチルであり；

R 2 は、水素またはメチルであり；

R 3 は、メチル、またはエチルであり；

R 4 は、水素またはメチルであり；および

R は、少なくとも 1 つの非末端炭素 - 炭素二重結合を含む直鎖または分岐 C 3 ~ C 10 アルキルである、

の工程を含む方法。

## 【請求項 2】

触媒が均一ルテニウム (II) 触媒である、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 3】

式 (II) で表される化合物の ， - 不飽和二重結合が E - 配置である、請求項 1 または 2 に記載の方法。